



小倉ロータリークラブ 週報

RIテーマ：“ロータリーは世界をつなぐ”

RI会 長：マーク・ダニエル・マローニー 氏
(所属：米国アラバマ州 シケーターRC)

地区テーマ：“不易流行～永続と変革～”

地区ガバナー：灘谷 和徳 氏(所属：福岡平成RC)

クラブテーマ：“小倉RCの歴史と伝統を確認し 未来へ繋ぐ”

会長 加藤 守夫 / 幹事 八尋 重治



表紙写真(テーマ/リーガトップから望むサンセット)

医師会関係のビールパーティに出席した折、美しいサンセットに遭遇しました。

【撮影：天ヶ瀬 洋正 会員】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30～13:30

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F

TEL (531) 1727 FAX (522) 4333

クラブ会報委員会 委員長：井芹 重文

副委員長：宮島 俊司

委員：南浦 忠義、伊井 雅明、城 健一郎、松田 恵作、弓削 康弘、大川 雅弘、辰巳 和正

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 第3415回

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・会員卓話 西部電気工業(株) 北九州支店長 井芹 重文 氏

第3414回 例会 記録

8月30日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “四つのテスト”
- ・卓話 記紀万葉研究家 福永 晋三 氏

会長の時間

加藤 守夫 会長

本日の福永晋三先生の卓話の前座を勤めさせていただきます。古代史の常識を覆す卓話でございます。私たちは日本史の時間に、日本の国の根本は近畿地方でスタートし、そして今に続いていると教わりました。確かに奈良や京都、大阪には古い神社・仏閣を中心とした沢山の建物が残っています。どれも歴史を感じさせる素晴らしい建築物ばかりです。だけどそれらがこの福岡県からある時代に移築された可能性があるのです。いや、今

ではそれが確信に変わりつつあります。例えば有名な三十三間堂、飛鳥寺、四天王寺 etc です。最近のテレビの歴史番組で、中国の高名な歴史学者が「古代の日本の国の中心は北九州にあったが、ある時期に畿内へ移動した。地名の移動も見られる。」と述べていました。理由は簡単で、中国の古い文献にそう書いてあるからです。どうやらその時にこれらの建築物も移動したようです。それから後の日本の中心は、現代の東京に移るまでは畿内で間違いありません。さて北九州の何処が古代の日本の中心だったのでしょうか。日本国の在り方を否定するとか、そんな大それたお話ではありません。ギリシア神話に出てくる伝説の都市トロイアを発掘したシュリーマンの様に、福永先生は古代史の世界で孤軍奮闘されています。でも必ず夜明けが来ると私は信じています。国学院大学をご卒業され、都立高校で教鞭をおとりになり、中国の文献を白文で読まれ、長年に渡り古事記、日本書紀、万葉集のご研究も積み重ねておられます。後ほど福永先生の卓話をじっくり拝聴致します。きっと脳みそをガタガタ揺すられますよ！



出席報告

梅田 副委員長

2019年7月1日：62名でスタート

	会員数	出席者数	メイクアップ	出席率
当日の出席	67名	40名	—	70.18%
先週の出席	67名	27名	36名	93.22% 修正後

- ◆ゲスト 1名 (卓話者)
- ◆ビジター 0名
- ◆名誉会員 1名
・鈴木 清 氏

ニコニコ献金

山口 副SAA

10,000円 : 累計金額 129,000円

加藤 守夫 君

- ①鈴木副市長、ご入会をありがとうございます。宜しくお願ひいたします。
- ②福永先生、卓話を楽しみに来ました。

辰巳 和正 君

- ①8月13日、とある宴会で安倍夫妻とお会いしました。丘みどりさんの応援もお願いしました(笑)。
- ②8月18日の博多ヨットクラブの湾内レースは、19チーム参加して1着でした。
- ③8月29日福岡市民会館で、丘みどりさんのコンサートを11名で楽しんで来ました。貢物はノドグロの干物にしました。

坪根 悟郎 君

8月11日に孫が生まれました。とうとうおじいちゃんです。

委員会報告

親睦活動委員会

合馬 委員長

- ①9月13日(金)の観月会はまだ期限がありますので、未定の方、都合が良くなった方は是非ご参加ください。また、親睦活動委員の方でご都合のつく方は早めにお集まりいただいて、準備のお手伝いをよろしくお願い致します。
- ②10月4日の例会は10月6日(日)に変更して、ギラヴァンツ北九州観戦例会を行います。IACとの合同例会となりますが、柏木会員のご厚意で例会場を確保することが出来ました。西日本総合展示場新館で合同例会を行い、その後ミクスタに移動してサッカー観戦する予定です。迫力がありますのでミクスタに観に行かれたことが無い方は是非ご参加ください。また、同伴の方は13時40分過ぎに直接試合会場へお越しください。

新名誉会員紹介

鈴木 清 氏

生年月日

職 業 北九州市副市長

【鈴木氏の挨拶】

7月1日に拝命いたしました。2か月が経とうとしています。前任の松元副市長同様、総務省から参りまして、仕事もそのまま引き継ぐ形で担当しています。RCとの関わりでは、数年前に広島県庁で勤務していた時に親しくしていただいた造園会社の社長がRCの活動をされていまして、文字通り奉仕の精神で地域の課題に汗を流されていました。私は公務員として地域に貢献することを職業としているわけですが、RCの活動が地域の課題の解決のために素晴らしい活動をされていることをそのときに改めて認識しまして、感動もし、尊敬もしていました。しかしながら私自身がRCで活動をさせていただくとは夢にも思っていませんでした。今回新しい任地として北九州市に参りましたところ、名誉会員という形で皆さんのお仲間に入れていただける機会をいただいて大変光栄に思っていますし、また楽しみに思っているところです。皆さんと共に小倉のため、北九州市のために貢献して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



卓 話

記紀万葉研究家 福永 晋三 氏

『倭(大和)王朝は筑豊にあった』

- 一、神武天皇(第二次東征) 一一八 春二月、第二次東征開始。「日を背にして戦う神策」を実行に移す。速吸門(速吸日女神社)に至り、珍彦を道案内とする。菟狹(宇佐市安心院妻垣神社)に至り、一柱騰宮に入る。(日本書紀要約)

数ヶ月、狹野嶽(求菩提山)に通い、「頭」大天狗(豊前坊)及び「八咫鳥」(求菩提山八天狗)一族と同盟を結ぶ。この間、吉野の国櫟(玖珠)部らを巡撫。

六月、「天皇獨り、皇子手研耳命と軍を帥ゐて進む。既にして皇師中洲に趣かんと欲す。」

七月、頭八咫鳥の案内で英彦山を下る。

八月、「菟田縣(川崎町)の血戦」に勝つ。

九月、天香山(香春岳)攻略にかかる。

十月、赤銅の八十梟帥を国見丘(岩石山)に破る。



十一月、彦山川水系を南下し、嘉麻川水系に入る。「十有一月の癸亥の朔己巳に皇師みいくさ大きに擧こぞりて、磯城彦を攻めむとす。」（求菩提山縁起+日本書紀の要約）

一二一 辛酉年の春正月の庚辰朔に、天皇、橿原宮に於いて帝位に即きたまふ。（日本書紀）

※神武即位。倭奴いぬ国滅び邪馬台やまと国成立。
二、仁徳天皇（宇治天皇）

是に天皇、高山かぐやまに登りて、四方の國を見たまひて詔りたまひしく、「國の中に烟發たず。國皆貧窮す。故、今より三年に至るまで、悉に人民の課役えつきを除ゆるせ。」とのりたまひき。是を以ちて大殿破れ壞れて、悉に雨漏れども、都かつて脩理すること勿く、はこを以ちて其の漏る雨を受けて、漏らざる處に遷り避けましき。後に國の中を見たまへば、國に烟滿てり。故、人民富めりと爲ほして、今はと課役を科せたまひき。是を以ちて百姓榮えて、役使えだちに苦しまざりき。故、其の御世を稱へて、聖帝の世と謂ふなり。（古事記）

天皇御製歌（持統天皇）

春過而 夏来良之 白妙能 衣乾有 天之香来山
（万葉集二八）

春過ぎて 夏来たるらし 白妙の 衣乾したり 天の香来山

※詠み人は持統天皇でなく、宇治天皇の皇后髪長姫と推測。

【新解釈】春が過ぎて夏が来たらしい。香山の周囲には濃い緑が繁っているが、それとは対照的に香山だけは夏の強い日差しを受けて、真っ白に輝いている。それはあたかも造化の神がそこだけに「純白のつやのある白妙の衣を乾してある」かのように眼に鮮やかに映ることよ。その香山を、天皇が民の暮らしが豊かになったかどうかを確かめる国見のためにお登りになっている、そのお姿が小さいながらも見える。どうか、民の竈が賑わっていますように。



三、天智天皇

糸田町泌泉に六六一年、須弥山と漏刻を建造した天智天皇は、それ以前に、次の大業績も残されているらしい。

（斉明天皇二年、六五六）是歳、飛鳥の岡本に、更に宮地を定む。時に、高麗・百濟・新羅、並びに使を遣して、調進す。爲に紺の幕を此の宮地に張りて、饗す。遂に宮室を起つ。天皇、乃ち遷りたまふ。號けて後飛鳥岡本宮と曰ふ。田身嶺に、冠らしむるに周れる垣を以てす。田身は山の名なり。此をば大務と云ふ。復、嶺の上の両つの槻の樹の邊に、觀を起つ。號けて両槻宮とす。亦是

天宮と曰ふ。時に興事おこしつくることを好む。廻すなはち水工みづ たくみをして渠みぞ穿ほらしむ。香山かぐやまの西より、石上山いそかみのやまに至る。舟二百隻を以て、石上山の石を載つみて、流みづの順ままに控くぼめ引き、宮の東の山に石を累かさねて垣とす。時の人の誇りて曰はく、「狂心たぶれごろの渠。功夫ひと ちからを損おとし費やすこと、三萬餘。垣造る功夫を費やし損すこと、七萬餘。宮材みやのき爛ただれ、山椒やまのすゑ埋れたり」といふ。（中略）又、吉野宮を作る。

国際社会奉仕委員会グループ別委員長会議 報告

日 時：8月21日（月） 18時30分～

場 所：庄吉

参加者：加藤（守）

テーマは2018～2019年度の活動報告と本年度の活動方針でした。稲積委員長（久留米中央 RC）から前年度は、例えば荊田 RC がフィリピンで移動図書館を創設。浮羽 RC がタイの小学校に浄水器を設置。小倉東 RC が60周年記念事業で、ネパールの小学校を会員20名が訪問し、歯科保健の啓蒙と教育環境の向上を図った等、6つのプロジェクトが実施された事を報告されました。

また、本年度のプロジェクトについては募集中であり、各クラブは気軽に申し込んで欲しいと話されました。ICSの資金は、2700地区の会員約3400人から一人あたり1,000円拠出して貰ったものであり、使用に当たりグローバル補助金よりもハードルが低いので是非利用して欲しいとの事です。因みに、これまでは現地の物価の関係で30～50万円で1つのプロジェクトが成り立っているそうです。また資金に残金が出るとロータリー財団に行ってしまうので是非応募して欲しいと述べられ、今年度の活動方針とされました。

【報告者：加藤（守）】

次回例会予告

9月13日（金） 夜間例会

- ・ロータリーソング “我らの生業”
- ・夫人同伴観月会

於：アートホテル小倉ニュータガワ

9月20日（金） 普通例会

- ・ロータリーソング “それでこそロータリー”
- ・会員卓話 ㈱九電工 常務執行役員北九州支店長

山本 泰弘 氏

『オリーブオイル テイスティング

～エクストラバージンオリーブオイルの世界～』